

令和8年度 練馬区立中学校

オーケストラ鑑賞教室

指揮

園田 隆一郎

司会

野口 綾子

管弦楽

パシフィックフィルハーモニア東京

令和8年 7月7日(火)・8日(水)

開演

午前の部 10:30~11:30

午後の部 13:40~14:40

会場

練馬文化センター

主催

練馬区教育委員会
練馬区中学校校長会
練馬区中学校教育研究会

練馬区立

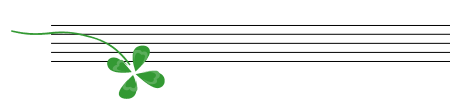
中学校

座席番号

組 番 氏名



演奏者紹介



指揮 園田隆一郎 (そのだ りゅういちろう)

2006年、シエナのキジアーナ夏季音楽週間《トスカ》を指揮してデビュー。翌年、藤原歌劇団《ラ・ボエーム》を指揮して日本デビューを果たす。同年夏にはペーザロのロッシェニ・オペラ・フェスティバル《ランスへの旅》を指揮、その後もジェノヴァ歌劇場、フランダース・オペラをはじめ、フィレンツェのトスカーナ管弦楽団、カタールニアのベッリーニ大劇場管弦楽団の演奏会を指揮。

その後国内外のオペラへの出演、オーケストラとの共演を重ねている。2026年はパシフィックフィルハーモニア東京定期演奏会、日本フィル夏休みコンサート、日生劇場《ドン・ジョヴァンニ》などへ出演を予定している。第16回齋藤秀雄メモリアル基金賞、第73回芸術選奨文部科学大臣新人賞を受賞。パシフィックフィルハーモニア東京 指揮者。藤沢市民オペラ芸術監督。

司会 野口 綾子 (のぐち あやこ)

神奈川県出身。フェリス女学院大学音楽学部音楽芸術学科卒業。音楽学、ピアノ演奏、幼稚園や病院等での訪問演奏会の企画実施などを学ぶ。その後リトミック指導法や、様々な音楽ワークショップの手法を国内外の指導者から学ぶ。2013年度東京文化会館ワークショップ・リーダー育成プログラムを受講後カーザ・ダ・ムジカでの研修に派遣され、現在東京文化会館ワークショップ・リーダーとして活動している。また、オーケストラの教育普及系公演等では司会やボディパーカッションの指導を行うほか、国際音楽祭の子ども向けコンサートやワークショップの企画も手掛けている。構成・作曲・出演したワークショップ動画「リズムカル・キッチン」が東京文化会館公式 YouTube チャンネルにて配信中。

演奏 パシフィックフィルハーモニア東京

1990年「東京ニューシティ管弦楽団」として設立。定期演奏会等の自主公演の他、オペラ、バレエ、音楽鑑賞、レコーディング、テレビ・ラジオ出演など幅広く活動している。

2017年からポップス定期演奏会を開催し、アニメ・ゲーム音楽など各界のアーティストと共演を続けている。2018年からは楽団誕生の地である練馬で練馬定期演奏会を開催し、地元に関差した活動も行っている。2022年4月には飯森範親が音楽監督に就任し、さらに楽団名を「パシフィックフィルハーモニア東京」へ改称して、更なる飛躍を目指している。

音楽監督 飯森範親、指揮者 園田隆一郎。公益社団法人 日本オーケストラ連盟正会員。



楽曲解説



1 映画「スターウォーズ」よりメインテーマ

J.ウィリアムズ作曲 (1932～)

ジョージ・ルーカス監督の映画「スターウォーズ」のメインテーマ。ダイナミックな序奏に続いて、飛び上がるような音の動きを含むトランペットによるファンファーレが出てきます。このようなヒロイックな主題は、J.ウィリアムズの得意とするところです。厚い弦楽器や華やかな打楽器の響きなどオーケストラ音楽の美しさを十分に味わえます。また、中間部では「火星」を思わせるような戦闘的なリズムが出てきたりします。最後は、また最初のファンファーレが戻ってきて終わります。

作曲家、ジョン・ウィリアムズは、ボストン・ポップス・オーケストラの名誉指揮者です。

3 トランペット吹きの日

L.アンダーソン作曲 (1908~1975)

ルロイ・アンダーソンは、アメリカの作曲家で軽い曲調の管弦楽曲で知られています。クラシック音楽と大衆音楽を融合させた「セミ・クラシック」もしくは「ライト・クラシック」に位置する小品を数多く作曲しました。ほとんどの作品がアーサー・フィードラーの指揮するボストン・ポップス・オーケストラによって紹介されました。

この曲は運動会の定番 BGM。3本のトランペットが細かいパッセージを吹きまくる活気あふれる曲です。オーケストラでは指揮者に叱られるトランペッターが、休日にのびのびと吹く様子が感じられます。

4 交響曲第5番「運命」第1楽章

L.v.ベートーヴェン作曲 (1770~1827)

「運命はこのように扉を叩く」、これは、この曲の冒頭の動機(旋律のもととなる最も小さなまとまり)について、ベートーヴェン自身がこのように語ったとされる言葉です。そのため、日本では「運命」の名でも親しまれる交響曲で、もっとも有名なクラシック音楽の中の1曲です。

耳の病気がかなり悪化し始めた時期に、約5年間をかけて作曲されたもので、1808年に交響曲第6番「田園」とともに初演されました。「困難を克服して歓喜に至る」という、ベートーヴェンの考え方が典型的に表れている作品です。

5 映画「ハリーポッター」よりヘドウィグのテーマ

J.ウィリアムズ作曲 (1932~)

「ヘドウィグのテーマ」は映画シリーズを通してのライトモチーフで、2001年公開の第1作から登場しています。しばしばシリーズのメインテーマとも称され『ハリーポッター』シリーズの音楽として度々挿入されます。ジョン・ウィリアムズからバトンを受けた、パトリック・ドイル、ニコラスフーパー、アレクサンドル・デスプラといったほかの音楽担当も、このテーマを用いて曲を書いています。

ヘドウィグとは主人公ハリーの飼っているフクロウの名前です。この楽曲の魅力は何と言ってもチェレスタというオルゴールのような響きを持つ鍵盤楽器の音色でしょう。この曲のワンフレーズを聴けば誰もがハリーポッターのテーマだと気付くほど、映画音楽のなかでもこの楽器の存在感を一気に高めたジョン・ウィリアムズの功績は大きいと言えるでしょう。まるでチェレスタ協奏曲ともいえるような演奏の難易度の高さに加え、ミステリアスでマジカルな雰囲気を楽しむことができる作品です。

6 管弦楽のためのラブソディ

外山 雄三作曲 (1931~2023)

作曲家・指揮者として活躍していた外山雄三の1960年の作品です。この年の秋、初めてNHK交響楽団がヨーロッパ・アメリカで演奏旅行をした際に初演され、大好評を博しました。広く親しまれている日本民謡をメドレー風にまとめたもので、8組の拍子木、3枚の団扇太鼓、仏教寺院の小さな鐘、締太鼓、チャンチキ、鈴などの日本の楽器にボンゴを加えた打楽器群が活躍する、色彩豊かな作品です。拍子木の音に始まり、手まり唄(あんたがたどこさ)、ソーラン節、炭坑節、串本節と続き、やがて鈴の音に導かれて、信濃追分のこぶしのきいた旋律がフルートで演奏されます。その後、打楽器のにぎやかな囃子とともに八木節のメロディーが盛り上がり、短いコーダで締めくくられます。

プログラム

- 1 映画「スターウォーズ」よりメインテーマ J.ウィリアムズ作曲
- 2 オーケストラの仕組みと楽器紹介
- 3 トランペット吹きの日 L.アンダーソン作曲
- 4 交響曲第5番「運命」第1楽章 L.v.ベートーヴェン作曲
- 5 映画「ハリーポッター」よりヘドウィグのテーマ J.ウィリアムズ作曲
- 6 管弦楽のためのラプソディ 外山 雄三作曲



感動あるコンサートにするために



コンサートは、演奏する人と聴く人の気持ちがぴったり合って、一つになることが大切です。一生懸命、真剣に演奏しているオーケストラの方々にこたえ、私たちもしっかり自分の耳を傾けて聴きましょう。今日このホールに集まった誰もが気持ちよく聴くことができるように、次のことに気をつけましょう。

♪ 落ち着いて、静かに聴こう

演奏中は、私語を慎み、心を落ち着けてじっくり鑑賞しましょう。

♪ 拍手は心の通じ合い

演奏が始まる前と終わった後には、心を込めて大きな拍手をおくりましょう。

♪ 曲の始まる瞬間を大切に

演奏が始まる直前は、特に神経の集中が必要です。聴く方も気持ちを一つにしましょう。

